

Cプラン

環境性と利便性を両立した管理システムの構築

研究内容

祖父江砂丘における絶滅危惧植物ビロードテンツキの保全管理計画

目的

生態学の立場から祖父江砂丘に生育する絶滅危惧植物ビロードテンツキの効率的な保全方法を考え、土木技術者として利用者や管理者が維持管理しやすい保全計画を策定する。

手段

複数の保全方法とその影響を比較し、ビロードテンツキの生育に適した保全方法を検討する。公園利用者や管理団体の活動に保全活動を組み込み持続可能な管理方法を提案する。

実現の価値

あやふやな経験則ではなく、データと科学的な知見に基づく保全方法を提案できる。環境性と利便性を両立し、人にも生物にも快適な公園を維持することができる。

学習計画

主軸分野

保全生態学から環境や生物について学び, 科学的な知見に基づいた保全計画を提案できるようにする
都市計画について学び, 公園の管理方法の優先順位や目標, また合意形成について学ぶ

関連分野

情報工学科からプログラミングやアルゴリズムを学び, 新たな解析方法を積極的に取り入れる
経営システム分野からシステムや人間行動のマネジメントを学び, 保全計画の立案に役立てる

キャリア目標

Society5.0に対応し, **データの収集から施策の提案**まで一括して実施できる人材となる

土木技術者として**環境問題**や**SDGs**等の社会課題を解決する